

2-4. サイバーセキュリティコース

様々な機能がインターネットやそこに接続された無数のコンピュータによって制御され、運用管理が行われるようなサイバー社会の時代となり、ネットワークで接続されたサイバースペースの安全は今後の社会を創造する上でますます重要なものとなっている。高度なサイバーセキュリティ人材には情報技術やネットワークの技術的な知識に加えて、法律、社会制度、組織の運営管理や国際関係など学際的で総合的な知識が必要である。更に、サイバー攻撃やシステム脆弱性の分析、事件・事故への迅速な対処などセキュリティ領域における深い理解と高度な対処能力が必要となる。本コースでは、SFCの学際性と情報通信分野における高度な専門性を活かして社会の要請に応える高度なサイバーセキュリティ人材を育成する。

【関連プロジェクト科目】

- | | |
|-------------------------|---------------|
| ■ Internet Technology | ■ 知的都市創造 |
| ■ Internet Civilization | ■ HCI Remixed |
| ■ ノーベル・コンピューティング:AIと脳科学 | ■ 安全保障1 |
| ■ ソフトウェアシステム | ■ 安全保障2 |

【担当者】

植原 啓介、楠本 博之、神成 淳司、高汐 一紀、武田 圭史、武藤 佳恭、手塚 悟、徳田 英幸、中澤 仁、◎中村 修、萩野 達也、服部 隆志、バンミーター・ロドニー、増井 俊之、三次 仁、村井 純、土屋 大洋、新保 史生

【キャリア・資格等】

本コース修了者は様々な領域における情報セキュリティ専門家、コンサルタント、政策担当者、研究者等のキャリアに進む事が想定される。また情報処理安全確保支援士やCISSP等の高度な専門資格取得に必要な基礎的な知識や能力を身につける事が可能である。

【サティフィケート修得要件】

サティフィケート名称 「サイバーセキュリティ (Cybersecurity)」
各科目区分の最低単位数を満たし、修士 (政策・メディア) の学位を取得すること

科目区分	科目名	履修区分	最低単位数
サイバーセキュリティ基礎科目	情報セキュリティ論、情報セキュリティの法と政策、サイバーセキュリティ・ケーススタディ	必修	6単位
サイバーセキュリティ基礎技術科目	ソフトウェアセキュリティ、ネットワークセキュリティ、暗号とデータセキュリティ	選択必修	4単位
専門科目 または共通選択科目	インターネット時代のセキュリティ管理、国際サイバーセキュリティ、プライバシーと個人情報管理、情報リスク管理、フォレンジック・インシデントレスポンス (2021年度開講予定)、ペネトレーションテスト (2021年度開講予定)、ウェブアプリケーションセキュリティ (2021年度開講予定)	選択必修	4単位
サイバーセキュリティ演習 *成果について審査し、合格すること	サイバーセキュリティ演習は関連プロジェクト科目、サイバーセキュリティに関するインターンシップ、その他コースが指定する科目から選択する。	選択必修	4単位

その他、コースに関する質問は担当教員に確認してください。